

新年の「あいさつ」

平成19年

地域の活力向上への努力を

香美市長
門脇 槇夫



新年明けましておめでとございます。皆様方には輝かしい新春をお迎えになられたことと心から喜び申し上げます。

さて『香美市』発足から十ヵ月が経過いたしました。この間市民の皆様方には何かとご指導、ご協力いただきました。ことに心から感謝申し上げます。

さて長らく続いた不況の嵐も今では都市部において「いざなぎ景気」を超えたといわれる程の好調な景気動向が続いています。一方、地方ではその傾向はまったく見られず、都市と地方の格差は拡大するなど依然厳しい状況が続いています。私は「地方の発展なくして国の繁栄、発展はありえない」との想いの中で、これからも地域の活力向上への努力を重ねてゆかねばと新年の誓いを新たにいたしておるところであります。そして、今日の社会情勢に適切に対応し、香美市まちづくりの基本理念である「輝き・やすらぎ・賑わいをみんなで築くまちづくり」の実現をはかるために、これからも常に市民の皆さんの目線に立った行政運営を心がけ「現場主義」を信条として、「清潔で公正」な行政の姿勢を貫いてまいります。今後とものご指導をよろしくお願いいたします。

末筆になりましたが市民の皆様方にとりまして今年も素晴らしい年となりますようご祈念申し上げます。ごあいさついたします。

ゆるぎない香美市の建設と発展を

香美市議会議長
中澤 愛水



平成十九年の年頭にあたり、市議会を代表し、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。皆様方には、希望にあふれた輝かしい新春をお迎えになられたことと、心からお喜び申し上げます。

昨年三月一日に誕生した香美市も、二年目を迎える本年は、市政発展の基礎固めの大変重要な年であります。行財政改革や自主財源の確保、定住人口の増加等課題は山積みしておりますが、農林業、伝統産業、地場産業の振興と就労の場の確保など、調和のとれた住民参加のまちづくりが不可欠です。行政の持つ情報の公開と、民主的で公正な自治と参加と心の通う行政推進も強く求められています。

合併効果を最大限に発揮しながら、伝統と文化と歴史の上に立ち、香美市の持つ山林資源・水資源・人的資源と可能性とを有機的に生かし、ゆるぎない香美市の建設と発展をはかって行かなければなりません。

長びく不況と暗いニュースの多い世相ではありますが、プラス思考で市民協働によるまちづくりを進めるためにも、さらなるご指導とご協力をお願いいたします。

市民の皆様方のこの一年のご健勝とご多幸をお祈りし、年頭のごあいさついたします。